

令和6年度 第1回評議員会 議事録

- [1] 評議員会の決議があったものとみなされた日 令和6年6月25日
- [2] 評議員会の決議があったものとみなされた事項の提案者 代表理事 橋本健一
- [3] 評議員総数 10名
- [4] 議案

- (1) 理事の選任
- (2) 令和5年度事業報告
- (3) 令和5年度収支及び財産の状況

- [5] 審議経過及び審議結果

令和6年6月10日、代表理事橋本健一が評議員の全員に対して、評議員会の目的である議案について、上記内容の提案書を発し、当該提案について令和6年6月25日までに評議員の全員から同意する旨の意思表示を得たので、当該提案を承認可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、評議員全員が次に記名押印する。

令和6年6月25日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会 評議員会

代表理事	橋 本 健 一	印
評議員	成 島 功 二	印
評議員	谷 口 靖	印
評議員	富 重 文 孝	印
評議員	鎌 田 邦 広	印
評議員	柴 田 眞 樹	印
評議員	鈴 木 裕 太	印
評議員	鈴 木 仁 志	印
評議員	渡 邊 由 美	印
評議員	岸 本 敦	印
評議員	岩 崎 洋 平	印

令和 6 年度第 1 回評議員会

令和 6（2024）年 6 月 25 日

一般財団法人 東京都立新宿高等学校 朝陽会

第 1 号議案 理事の選任

1. 規定

- ・定款第 21 条によれば理事及び監事は、評議員会の決議によって選任することになっている。
- ・また定款 25 条によれば、理事の任期は選任後 2 年以内、監事の任期は選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとなっている。
- ・今年度は改選期ではなく、交代者の任期は前任者の任期の満了する時までとなっている。

2. 新理事の選任

- ・新宿高校の教職員異動に伴う補充人事を下記の通り行う。
- ・新任候補者及び退任者は下記の通り

氏名		出身	任期
堀川 勝史	新任	新宿高校校長	令和 7 年定時評議員会まで
長井 正徳	〃	新宿高校教諭	〃
藪田 憲正	退任	前新宿高校校長	
安藤 直樹	〃	前新宿高校教諭	

- ・尚、新任候補者はその就任を承諾している。

第 2 号議案 令和 5 年度事業報告

1. 事業の現況に関する事項

1.1 館山寮の改善・運営

1) 全居室にエアコンを設置しました。

設置費用は総額 6,028 千円でした。この内 3 百万円は手持ち資金を充当しましたが、不足の 3 百万円は、朝陽同窓会に一時的に資金援助を依頼しました。この 3 百万円の借入金は令和 6 年度中に返済できる見込みとなっています。

2) 館山寮将来構想検討委員会の活動

夏季以外の開寮の取組として、開寮を広く告知するためにパンフレットを作成し、ホームページなどに公開しました。また、79 回生全員に配布しました。

9 月の連休に試験的に開寮したところ、30 人の宿泊がありました。

1.2 臨海教室及び一般開放

1) 臨海教室はコロナ以前まで実施されていた 2 泊 3 日の日程で 2 クラスずつ、4 期間実施され、事故無く、心配された新型コロナウイルス感染もなく、無事に終了しました。また、台風被害及び経年劣化により必要な備品の購入に対しては、可能な範囲で購入援助しました。

食事提供は、厨房機器のメンテナンスと調理人の確保が出来なかったので、前年に続き弁当としました。

2) 同窓生に対する館山寮の開放は、臨海教室終了後 2 週間程行いました。

コロナ以前の客足に戻りつつあります。

2. 従来からの継続案件は引き続き支援または検討します

- ・朝陽バラ会への支援
- ・旧水上寮の跡地の活用問題

2. 財産及び損益の状況

別添の会計報告書の通り。

3. 対処すべき今後の課題

2.1 館山寮の維持管理

館山寮将来構想検討委員会の活動を注視し、可能性のある事項から実行に移します。

厨房の稼働については引き続き検討します。

2.2 臨海教室および一般開放

臨海教室実施のための支援を継続いたします。

一般開放は、夏季以外に春季、秋季に数日行います。

第 3 号議案 令和 5 年度収支及び財産の状況

1. 収支－予算実績対比

1) 経常収益

単位：万円

－は収益の減少

項 目	実績	予算	増減
賛助会員受取会費	372	375	－3
寮使用料収入＊	824	710	114
寄付金、雑収入	16	10	6
合計	1,212	1,095	117

＊臨海教室及び一般開放がコロナ禍以前の水準まで回復したことによる、予算は過少見込

2) 経常費用

単位：万円

－は費用の増加

項 目	実績	予算	増減
減価償却費	1,135	1,049	－86
光水熱費、燃料費	110	138	28
消耗品費、備品費	62	100	38
賃借料、保険料	105	107	2
委託費	479	500	21
不動産所得税＊	127	0	－127
その他費用＊＊	116	220	104
合計	2,134	2,114	－20

＊不動産取得税は、前年再建された館山寮宿泊棟に対するもので、予算は未計上

＊＊予備費の未使用など節約

3) 経常収支差額

単位：万円

－は収支の赤字

項 目	実績	予算	増減
当期収支差額	－922	－1,019	97
(現金収支＊)	(212)	(30)	(182)

＊現金収支とは、当期収支差額に減価償却費を加えた金額で手元資金の増減を表す

2. 財産－前年対比貸借対照表

1) 現金・預金

単位：万円

項 目	当年度	前年度	増減
現預金	422	342	80

2) 基本財産

単位：万円

項 目	当年度	前年度	増減
土地(館山、水上)	5,643	5,643	0
建物、建物付属*	12,511	13,484	－973
器具備品**	517	77	440
合計	18,671	19,204	－533

*減価償却費分の簿価減による

**全居室にエアコンを設置したことによる

3) 特定資産

単位：万円

項 目	当年度	前年度	増減
館山寮再建等引当資産*	0	251	－251

*前年度の館山寮再建募金を基本財産に振り替えたことによる

4) 資産合計

単位：万円

項 目	当年度	前年度	増減
総資産	19,093	19,797	－704

4) 負債

単位：万円

項 目	当年度	前年度	増減
前受金、未払金	522	599	－77
短期借入金*	300	0	300

*朝陽同窓会からエアコンの設置費用を一時借用したこと

5) 正味財産

単位：万円

項 目	当年度	前年度	増減
正味財産*	18,271	19,198	－927

*当期損失（主に減価償却費負担）による減少

6) 負債及び正味財産合計

項 目	当年度	前年度	増減
負債・正味財産	19,093	19,797	－704